Japan Yunnan
Friendship Association

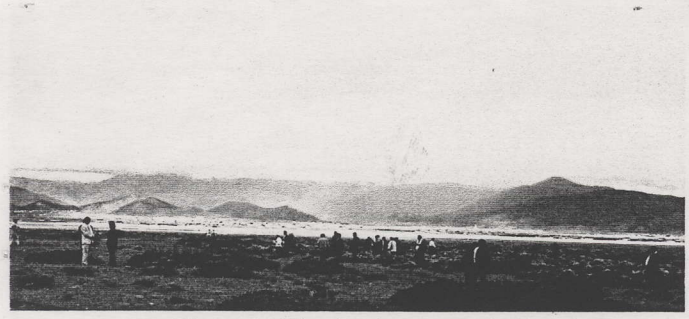
彩雲の南

第4号

編集・発行
日本雲南聯誼協会事務局
〒193-0834　東京都八王子市東浅川町 879-10
TEL(0426)69-1677, FAX(0426)69-1678
http://www.soyi.co.jp/jyfa

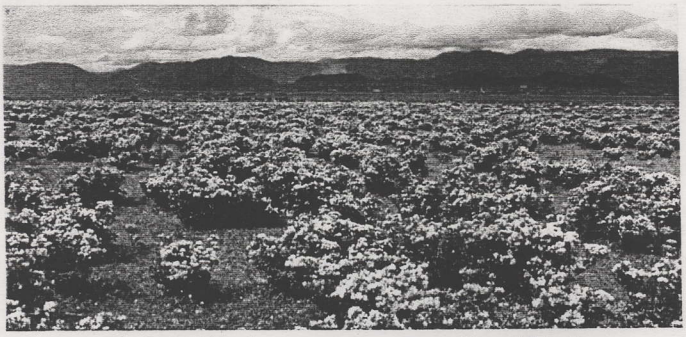
2001年8月21日発行

待望の吉能小学校が完成



果てしなく広がる草原に尼史村はある

完成した校舎と門



春から夏にかけて辺り一面は花で覆われる

喜びの気持ちを読み上げる生徒代表

今年2月に着工した工事も5月末日に終了し尼史村と協会が待ちに待った校舎が完成しました。入り口にはチベット族独自の装飾が付いた堂々たる門が人々を出迎えます。校舎の壁はレンガを使用し冬の厳しい自然環境に充分耐えうる重厚感があります。

今まで粗末な暗い物置で低学年生が勉強をしていましたがこれからは高学年生も一緒に授業を受けられます。高学年生は今まで隣の村の学校へ片道2時間かけて通っていたので子供たちは無論、父兄達も大喜びです。

校舎が完成して間もない6月2日に盛大な落成式が行われました。ちょうどこの時期に中旬で雲南世界同郷会（雲南省出身の華僑大会）が開かれ、初鹿野の提案により合同で祝うことになりました。大会参加者全員が出席したため250名を超す観衆の中で式典が執り行なわれ、村にとっては今までにないような大イベントでした。

支援者の中村ご夫妻は『長い間の願いが叶い、中国に小学校を建てることが出来て本当にうれしく思います。』と完成の喜びを語られました。

このような協力ができたことは互いの国の友好の輪を広げることになり大変喜ばしく思います。規模からすると小さな学校ですがその学校で勉強する子供達とその家族にとってはとても大きな出来事なのだと熱い歓迎を受けて感じました。

民間の小さな交流がここで生まれ、いつまでも互いの国を思いやり平和にやっていけたらと考えます。協会は新たな支援に向け活動を続けていきますのでご希望やご意見、それと温かいご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

雲南秘境の旅

『雲南秘境の旅に参加して』

角谷 民夫

玉龍雪山や金沙江（長江上流）を眺めながら中甸へ向かった。途中虎が渓谷を跳び越えたという伝説で有名な虎跳峡へ立ち寄った。断崖を激流が流れる様を見て雄大さの中に崇高なものさえ感じた。

チベット高原に属する中甸は6月から8月まで花が咲き乱れ香格里拉（シャングリラ）と言われる。予定より大幅に遅れやっと到着した。

朝早目にホテルを出発し納怕海自然保護区で乗馬を楽しんだ後、雲南最大のラマ教寺院である松賛林寺を見学した。そこでは高僧に拝謁し頭をなでられ香木の数珠と赤い糸を授かり何か得をしたような気分になった。

丘の上でスケッチをして協会が支援している尼史村の小学校を訪問した。そこでは最高のもてなしを受け小学生や大勢の村民に見送られて村を離れた。

小学校を見学し協会の活動目的である教育支援について考えさせられた。本来は国や省などの行政がやるべきであって我々のような第三者がタッチすべき領域ではないのかもしれない。従って協会としては教育支援とは本来どうあるべきか、限られた資金を有効且つ効果的に使うにはどういう方法が良いかなどといった基本的な問題をもう一度原点に立ち返って全員でじっくり話し合う必要があると思うのである。

海外聯誼会と雲南在住の水墨画家達による歓迎会

モデルになってくれたタイ族のお嬢さんと

『感　動』

寺本 功

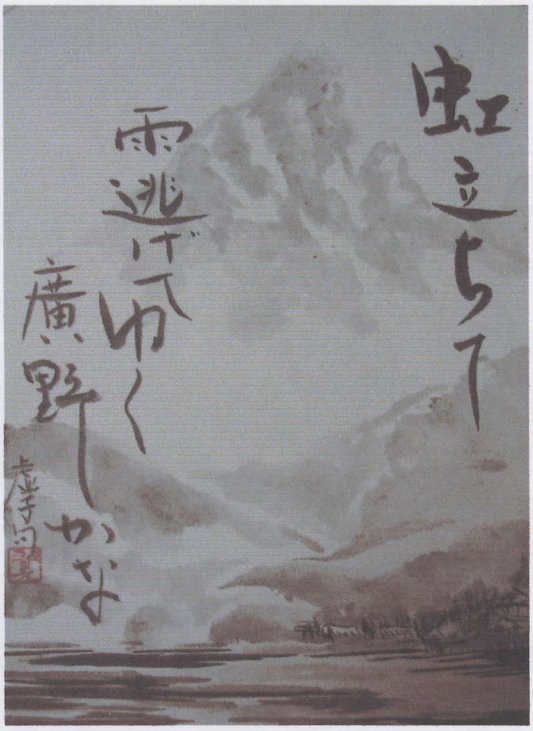
私は本年4月に日本を代表する墨画家であり、上海市文化交流協会理事であられる杉谷隆志先生に誘われて、雲南省秘境の旅に参加してきました。それは、ラオス、ベトナム国境に近いシーサンパンナからチベット族が住むシャングリラへの旅でしたが昔の日本を思い出すような民族村を訪ね、または戦中戦後の子供のころを思い出すチベット族の子供たちに接して、沢山の感動と新鮮な出会いを得てきました。

帰国後5月に大相撲をテレビ観戦していて、千秋楽の優勝戦取り直しの一番で貴乃花が勝って仁王様のように目を見開いたしぐさをみて胸にジーンとくるものを覚えました。その後表彰式で小泉首相が「素晴らしい、感動した」の言葉にまたまた感動し自分にも力がみなぎる思いをしました。年をとると感動をすることも少なくなり鈍くもなります。感動をすることにより元気が湧き、若さが保てるのではないかと思います。これからは多くの感動を求め、また趣味の水墨画で皆さんに感動されるような作品が描けるようになればこんな素晴らしいことはないと思います。考えているだけで勇気が湧いてくる思いがします。

NPO法人日本雲南聯誼協会におかれましても、雲南省との交流活動、教育支援活動など今までの活動を益々発展させ会員の皆様に素晴らしい感動の場を与え全国的活動に発展されることをお祈りいたします。

働き者で有名な納西族の女性と

食べきれないほどのご馳走に毎回ワクワク



これは雲南秘境の旅に参加された武田一恵様の描かれた玉龍雪山の墨絵です。素晴らしい絵を描いて送っていただきまして本当に有難うございました。

西安留学記

楠山　紀夫

昨年８月末、初めて降り立った西安の空港から留学先の西安外国語学院（学院は単科大学の意。略称：西安外院）へ向かう車の中から今なお残る城壁を見て、その偉容に感動した。明代に縮小改修したという周囲１２ｋｍ、高さ１２ｍの城壁は濠に囲まれていた・・・。

外院は城壁の外、市街地の南端にあって、キャンパスはこじんまりしている。日、英など各国語学科、旅行学部（主として旅行ガイドを養成する）、教育学部の他多くの併設学校があり、私が在籍した漢学院もその一つである。

外院は外国語大学という性格から学生の７～８割は女子学生で日本語学部と旅行学部の日本語を教えている。彼らの勉強振りは凄い。９月、２年生になったばかりの学生がたどたどしさは否めないが日本語での会話が出来るのだ。私の知る限り日本の学生とは雲泥の差だ。

漢学院での成果はこと私に関する限り眼（耳？）を覆いたくなる惨状であるが多くの中国人学生との交流は一年を顧みる短いものにした。私の印象を一言で言えば彼らは純朴で、親切で、向上心に燃えている。

「假如我還年軽而独身的話」……！

私の体験を多くの人に話したいのが紙面の都合とそれ以上に私にはその才能が無いことを悔やむこと大である。

学生とのバレーボール親善試合での楠山氏（前列右）

NPO日本雲南聯誼協会第一回定時総会
設立一周年記念懇親会開催

定時総会

多くの方々に集まっていただいた今年の総会

墨絵を通して友好交流を進める杉谷専務理事

新しい役員右から北原茂実氏、中村有里子氏、唐澤英安氏
市川里福氏、大鷲修平氏

NPO法人として初めての定時総会の様子

早いもので設立してから一年が経ち、その間にNPO法人として新たなスタートを切りました。一年間に沢山の団体や企業、個人の方と知り合い、協会の活動を導いてくださるようなご意見をいただくことが出来たことに感謝します。

このたびの定時総会は一年の活動報告とNPOとしての事業計画を参加者にお知らせしました。

昨年を上回る方にご出席いただけましたが事務局の不手際により資料や説明の不足がありご迷惑をおかけしましたこと紙面をお借りしてお詫びいたします。

総会では新たに加わった4名の理事と監事の紹介があり益々多方面的な協力が得られると心強く感じました。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【祝電のご紹介】（紙面の都合により一部のみ）

- **八王子市長　黒須隆一様より**
- **雲南省海外聯誼会より**
  貧困地域の教育に対して無償の支援と積極的な努力に感心いたします。友好交流のために出来る限りの協力をいたします。
- **戸育郷班養小学校より**
  貴協会は日中友好の使者として文化経済の交流と発展を促進させ貧困児童の教育や支援に温かい力を注ぐ大きな責任を果たしていらっしゃいます。皆様との再会を心から待ち望んでおります。

設立一周年懇親会

チャリティー販売の様子

雲南省秘境の旅に参加された寺本功さんの挨拶

二胡の麗しい音色を聞かせて下さった丙雪さん

自らもボランティアをされている高山千代美さんは歌を披露された

素晴らしい日本舞踊を披露して下さった花柳星美衛さん

踊りや音楽を楽しまれる参加者

∞∞

支援金有難うございます

協会の活動にご賛同いただきこの度教育支援金を寄付していただきました。大切に使わせていただき、使用先については後日皆様へ報告させていただきます。本当に有難うございました。（順不同）

片岡　巌様より	４２，０００円
峰尾勝美様より	１０，０００円
春島伸一様より	１００，０００円
呉　斉旺様より	５０，０００円

総会終了後は場所を移して設立一周年の懇親会が開かれました。懇親会会場の外ではチベット族のネックレスやポーチ、納西族のトンパ文字の壁掛けや小物などを販売し女性に盛況でした。

ホテル側からのご好意により雲南を意識した料理を出していただきましたが出席者された方は果たしてお気づきだったでしょうか？

会場は大勢の人で少し窮屈に感じたほどです。会員のご協力により素晴らしい歌や踊りが披露され、昨年同様楽しく賑やかな会になりました。

♪二胡（胡弓）ミニコンサート開催のお知らせ♪

今秋 10 月より二胡の新教室開講に先駆けまして、」第一回定時総会の懇親会で麗しい音色をご披露いただいたルイ雪先生のミニコンサートを開くこととなりました。先生は東京芸術大学に留学経験をもち、作曲、CD 制作、コンサート活動等で活躍中です。晩夏のひととき、心癒される哀愁を帯びた二胡の音色をご堪能ください。ご伴侶、お友だち等をお誘い合わせの上ご参加ください。

日　時：9月15日(土)2時から3時半まで
場　所：日本雲南聯誼協会事務局
　　JR高尾駅南口から徒歩5分
料　金：800円
　　（心ばかりの飲食を準備しております）

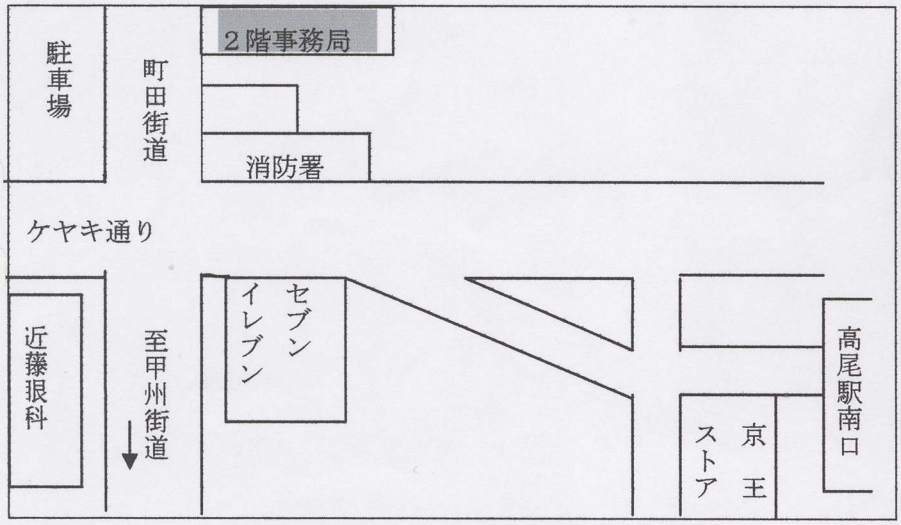
【お申し込み・お問い合わせ】

- お電話による予約制といたしますのでお早めに申し込みください。
  電話は　0426−54−5283（FAX）
  夜6時半から　渡理まで
- 料金は当日払いでお願いいたします。
- 駐車場は 30 分 100 円で事務局前方にあります。

事務所移転のおしらせ

この度協会事務所を移転いたしました。大変広くなりましたので皆さんお近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

【住所】　八王子市東浅川町879−10



もう一つの小学校建設のお知らせ

3月、ベトナム国境近くの金屏県（雲南省で最も貧しいといわれる）に小学校が開校しました。これは協会の活動に賛同して昨年の設立大会に出席された張俊明氏が300万円の資金を投じて建てた学校です。ここは一番近い町の中心部から車で数時間さらに山道を4時間歩かなければたどりつけないヤオ族が暮らす奥地の村です。現在73名の児童が新しい校舎で元気に勉強をしています。

学校の名前は日本立德慈済学校と付けられました

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

あるパーティーで中野良子さんと知り合い、設立一周年に対して祝いのメールをいただきました。一部をご紹介いたします。

> この度は設立一周年記念おめでとうございます。いつか貴協会と合同でトークコンサートでも開催出来ましたらうれしいですね。
> 私著書『星の詩ー国際交流への芽生えー』（雲南省へ行った時の写真や面白いお土産話がたくさん書かれています。）を送りますので出席の皆さんとご覧ください。
> 皆様によろしくお伝え下さいますようお願い申し上げます。

中野良子さん（右）と